

## (1) 施策の外部評価の結果 【第2回】

基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	地域の産業が盛んなまちをつくる
施策	19：地域を支える商業・工業の振興
目標とする状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域産業の活力が高まり、交流人口の増加とともに多くの人が市内で働いています。</li> <li>●商店や商店街が活性化し、消費者とのコミュニケーションが活発に行われています。</li> </ul>

施策の達成状況 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	B 計画どおりの成果 が得られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界、日本の景気動向に影響されやすいため、地方公共団体としての対策は限られると考える。</li> <li>・日本遺産の認定や企業立地の促進などが具体的に進んでいると感じる。</li> <li>・指標の達成実績・見込は妥当な水準であり、内部評価は合理性があると考ええる。</li> <li>・施策を構成する主な事業については、概ね計画通りに進捗され、成果が得られているものとする。</li> <li>・新たな産業用地である東部第二地区への企業立地が促進されているため、従業員数の増加が見込まれることは妥当である。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		B 計画どおりの成果 が得られている	A 計画以上の成果が あがっている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第2分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画事業の構成について、概ね妥当であると判断するが、施策の達成度に対して、目標達成度を測る指標の一部現状値や今後の見込値に乖離があるため、指標の妥当性等について整理することが必要である。</li> <li>・商店数の増加だけでなく、消費者の購買動向を知るための指標を取り入れる方が良い。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である
市民意識の反映 ：A～C	第2分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	C 反映できていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識が、概ね施策に反映されていると考える。</li> <li>・市民自由意見において、伊勢原駅北口周辺地域の商店街に活気が少ないこと、大山への登山客や観光客が同地域で消費せず他地域に流れていると感じているとの意見が散見された。本意見は、既存の駅周辺商業地域の振興に向けた課題整理・施策立案に有効な意見であると思われる、今後は、こうした意見の反映がなされる施策実施に期待したい。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		C 反映できていない	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	C 反映できていない	C 反映できていない
課題の捉え方 ：A～C	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方の特色が的確に捉えられている。</li> <li>・課題の捉え方は的確と思われるが、目指すべき具体的なデザインが見えない。</li> <li>・方向性は良いが、優先度、スピード感が感じられない。「効果があり、費用が軽微な事項」は即実行という方針を出してほしい。</li> <li>・駅北口周辺地域における登山客や観光客の受入体制の整備・拡充について改善余地があると思われる。</li> <li>・商業の活性化対策として、消費者の動向が判断できるようにする必要がある。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる
施策の方向性 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	B 継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際動向に適宜対処する必要がある。</li> <li>・（仮称）伊勢原北インターチェンジ周辺の土地利用を含む市の産業政策の方針を発信すべき。</li> <li>・産業活性化の重要な手段となるIT化を進めることも必要ではないか。</li> <li>・継続実施として判断するが、市民意識を踏まえた取組の検討も必要である。</li> <li>・市の持続的な発展のためには、産業の発展が不可欠である。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		B 継続実施	A 拡大して実施	A 拡大して実施	B 継続実施	B 継続実施

(1) 施策の外部評価の結果 【第2回】

基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	地域の産業が盛んなまちをつくる
施策	20：地域とつながる都市農業・森林づくりの推進
目標とする状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な担い手により優良な農地が維持され、消費者のニーズを捉えた新鮮で安心・安全な地場農産物が幅広く普及し、多岐に及び農業が盛んに行われています。</li> <li>●市の貴重な財産である森林などの自然資源が、次代に確実に引き継がれています。</li> </ul>

施策の達成状況 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	B 計画どおりの成果 が得られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の達成度が向上しており、計画的に進んでいると思う。</li> <li>・目標達成状況は概ね良好である。農業、林業は経験上、改革や変革が困難な分野であると思うが、大都市近郊型としてさらに活性化努力が必要である。</li> <li>・農業基盤整備促進事業を除く各事業について、概ね計画通り進捗し、成果が得られている。農業基盤整備促進事業については、実態を踏まえた計画見直しを検討のうえ、継続的な推進を期待したい。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B 計画どおりの成果 が得られている	C 計画より遅れている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第2分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物のブランド化、地場産品販売の具体的対応が分かりにくい。</li> <li>・農産物のブランド化推進事業は、市内各団体との協力体制がポイントであると思う。</li> <li>・生産性の視点を追加してはどうか。</li> <li>・有害鳥獣対策事業の一環として、猪、猿、熊の捕殺に適切に対応してほしい。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	
市民意識の反映 ：A～C	第2分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	B 概ね反映されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度、重要度が平均値より若干低い。</li> <li>・多くの市民が林業や農業は地域の誇れる産業であると認識している。また、ブランド化への取り組みについても、市民の理解があると思う。</li> <li>・市民意識の反映は相応になされていると思うが、同時に行政が市民意識を超える発想と知恵で都市近郊型農業・林業を発展させてほしい。既成概念の打破が必要。</li> <li>・有害鳥獣対策の充実に努めてもらいたい。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	
課題の捉え方 ：A～C	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化などについて、具体的対応を示した方が良い。</li> <li>・課題の捉え方は申し分ない。</li> <li>・有害鳥獣対策も課題として捉える必要があるのではないか。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	
施策の方向性 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	B 継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費地に近い農業を活かした施策を推進し、農業の活性化を図る必要がある。</li> <li>・観光産業との共生と調和が求められる。</li> <li>・農業・林業の安定的発展と都市の健全化は不可分である。伊勢原市は絶好の位置にあり、この分野での一層の発展が期待される。</li> <li>・自然と調和したまちづくりを推進できる立地条件を持っている。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 拡大して実施	B 継続実施	A 拡大して実施	B 継続実施	B 継続実施	

(1) 施策の外部評価の結果 【第2回】

基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	多くの人を訪れる賑わいのあるまちをつくる
施策	21：伊勢原ならではの観光魅力づくり
目標とする状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域資源を生かした様々な交流が活発化し、1年を通じて多くの観光客で賑わっています。</li> <li>●交流を大切にすおもてなしの心がひろがり、国際的な観光地として、国内外から多くの人を訪れています。</li> </ul>

施策の達成状況 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	A 計画以上の成果 があがっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光に関する国の政策が追風になっていると考えられる。</li> <li>・日本遺産の認定が得られたのは行政側の努力の成果である。</li> <li>・魅力を発見、発掘、発展させることが、本施策において重要な点である。</li> <li>・計画通りに進捗され、計画以上の成果が得られている。</li> <li>・本市がテレビ等のマスコミに取り上げられる割合が増加していると感じる。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A	A	B	A	A	
	計画以上の成果が あがっている	計画以上の成果が あがっている	計画どおりの成果が 得られている	計画以上の成果が あがっている	計画以上の成果が あがっている	

計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第2分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関と連携した施策・事業も必要である。</li> <li>・時間をかけて幅広い層から親しまれる事業としてほしい。</li> <li>・概ね妥当であると判断したが、インバウンド強化対策の必要性について検討いただきたい。</li> <li>・大山・日向地区以外の観光資源も積極的に発掘してほしい。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	b	b	a	b	a	
	概ね妥当である	概ね妥当である	適切な構成である	概ね妥当である	適切な構成である	

市民意識の反映 ：A～C	第2分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	A 反映されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い世代や、様々な産業から期待されている分野であるため、幅広い意見の集約も必要と思われる。</li> <li>・本施策は大部分の市民の声をほぼ反映していると思う。</li> <li>・市民意識調査の自由意見も多いので関心の高さが見て取れる。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A	B	A	A	A	
	反映されている	概ね反映されている	反映されている	反映されている	反映されている	

課題の捉え方 ：A～C	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	A 課題の捉え方が 的確である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な観光の特色が示されていない。どの地域を的としているのか不明である。さらに拡大できるポテンシャルが多い分野と考えられる。</li> <li>・日本遺産認定地として更なる認識の共有が必要。</li> <li>・回遊性を高めるための交通インフラ（道路、駐車場、案内板）やハブ拠点を充実させてほしい。観光ボランティアの充実も必要である。</li> <li>・増加する外国人観光客を大山等の魅力ある観光地に誘引すべく、インバウンド対応の現状認識と強化の必要性について検討し、課題に反映されることを期待したい。</li> <li>・観光の国際化に対応するため、通訳ボランティア育成なども必要である。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B	A	A	B	A	
	課題の捉え方に一部 不足が見られる	課題の捉え方が 的確である	課題の捉え方が 的確である	課題の捉え方に一部 不足が見られる	課題の捉え方が 的確である	

施策の方向性 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	A 拡大して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際動向や経済動向を踏まえて、受け入れ環境を拡大できる体制は整備しておく必要がある。</li> <li>・集客意識の再構築が必要である。</li> <li>・大山・日向地区の駐車場整備など観光客の受入体制の構築については、拡大して実施していくべきであると判断する。</li> <li>・観光はまだまだ伸びしろがあると思うので、積極的に施策を展開してほしい。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B	A	A	A	A	
	継続実施	拡大して実施	拡大して実施	拡大して実施	拡大して実施	

(1) 施策の外部評価の結果 【第2回】

基本政策	産業の活力があふれる元気なまちづくり
施策展開の方向	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる
施策	22：いせはらシティセールスの推進
目標とする状態	●伊勢原の都市イメージが定着し、市内外に伊勢原の魅力や取組が分かりやすく伝わり、様々な交流が盛んに行われています。

施策の達成状況 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	B 計画どおりの成 果が得られて いる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画計上事業の成果は徐々に上がっていると思う。</li> <li>・本施策は長期に渡って、地道に継続することが肝要である。スタートとして、テレビ放映、市公式イメージキャラクターの浸透等、施策は順調に達成されていると考える。</li> <li>・概ね計画通りに進捗され、成果が得られている。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 計画以上の成果が あがっている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第2分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策は、他の施策との関係が深い分野であり、アンケート等の調査分析を適宜実施し、新たな対処を迅速に行うべきである。</li> <li>・観光が大きくPRされているように思うので、定住人口の増加に向けて、その他の産業の立地や利便性、安心安全、住みやすさ等の発信も必要ではないか。</li> <li>・人口については、自然増を指標に入れたどうか。そのために子育て環境、医療環境の充実度をPRするのはどうか。</li> <li>・災害が少ないということをもっとアピールした方が良い。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	
市民意識の反映 ：A～C	第2分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	B 概ね反映されて いる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度が得られているが、重要度が市民に理解されていない。</li> <li>・特に大きな問題や災害がないなどは別の視点から見れば住みよいポテンシャルの高い値域とも言えるのではないか。</li> <li>・市のホームページ（観光、文化、歴史、情報など）アクセス回数を指標化してはどうか。市民の意識調査は、市内の小・中・高生、大学や社会人へのアンケートでトレンド把握出来ると思う。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	C 反映できていない	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	
課題の捉え方 ：A～C	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	A 課題の捉え方が 的確である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的に課題が検討されている。</li> <li>・多くの事業の推進に明確なビジョンとリーダーシップが求められる。</li> <li>・シティプロモーション（シティセールス）の意味が分かりにくい。日本語名と併用したらどうか。</li> <li>・観光やイベントの紹介だけでなく、インフラの充実、人の気質の良さ、四季折々の気候のすばらしさなどもPRした方が良い。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	
施策の方向性 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	A 拡大して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産認定という第三者認定も受け、施策を拡大し、市民・市民外意識の理解が向上される機会と考えられる。</li> <li>・行政と市民が一体となるには市民への理解度をさらに高めるための取り組みが必要と思う。</li> <li>・市内小中高生への啓蒙がより必要かつ有効と考える。</li> <li>・既にある程度の成果が得られている状況であるが、さらなる拡大の必要性については、追加投資による費用対効果を踏まえ市総合計画全体の中で判断されることが望ましいと考える。</li> <li>・都市間競争に打ち勝つためには、伊勢原の優位性をもっと積極的にPRしていく必要がある。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 拡大して実施	B 継続実施	A 拡大して実施	B 継続実施	A 拡大実施	



(1) 施策の外部評価の結果 【第2回】

基本政策	都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり
施策展開の方向	都市の骨格を支えるまちをつくる
施策	23：地域特性を生かした新たな産業基盤の創出
目標とする状態	●地域を大切にしている企業が集積し、雇用機会が創出され、新たな市街地の交流が始まっています。

施策の達成状況 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	B 計画どおりの成果 が得られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順調に推進していると思われる。</li> <li>・施策を構成する主な事業について、概ね計画通りに進捗され、成果が得られている。</li> <li>・指標の目標値が一部達成されている。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	A 計画以上の成果が あがっている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第2分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	a 適切な構成である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業の推進により、新たな展開が期待される。</li> <li>・「土地区画整理」「交通要所と周辺整備」は着眼点も有効性も優れている。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	a 適切な構成である	a 適切な構成である	
市民意識の反映 ：A～C	第2分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	B 概ね反映されてい る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度が若干平均値より高くなっているが、重要度は平均値を下回っており、市民に重要性が理解されていない。</li> <li>・高速道路のインターチェンジ周辺の性格上、倉庫、物流企業の立地が必然的に多くなる可能性が高いが、様々な産業の立地も視野に検討すべき。</li> <li>・重要度が若干低い点は、産業基盤整備は歩道整備などと違い、市民の日常生活に直接影響を及ぼしにくい点と考える。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	C 反映できていない	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	
課題の捉え方 ：A～C	第2分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	A 課題の捉え方が 的確である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな産業基盤の創出は、社会動向等を随時検討対処すべきである。</li> <li>・長期的な視野と目先の経済性との両面から計画を進めるべきと思う。</li> <li>・産業基盤は工業系のみならず、幅広い分野を対象とすることが望まれる。観光産業、農林業への恩恵も工業系と同じ位重要であろう。伊勢原らしい特色を発揮するには、ロボット産業に必ずしもこだわらなくて良いのではと思う。</li> <li>・雇用の改善についても課題にしたらどうか。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	A 課題の捉え方が 的確である	B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	
施策の方向性 ：A～D	第2分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	A 拡大して実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新東名高速道路整備などを背景に新たな産業基盤創出に関して新たな提案を検討していくべきである。</li> <li>・地域とのバランスを重視すべきと思う。</li> <li>・有効な土地利用を図ることが必要である。</li> </ul>				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 拡大実施	A 拡大実施	A 拡大実施	B 継続実施	B 継続実施	